

* * イ カ ナ ゴ 情 報 No. 3 * *

今漁期の漁獲物標本測定を実施

4月上旬頃にふ化した群が主体. 終漁時期は5月末頃か

中央水産試験場
後志南部地区水産技術普及指導所

調査の概要

2013年5月22日に、今漁期の5月5日から5月22日までに採集していただいた島牧・寿都海域の漁獲物標本を指導所に持ち寄り、漁協と役場の皆様、指導所職員、水試職員で体長測定を実施しました。現在までの資源状況などについて検討しましたので、お知らせします。

- ・ 4月上旬にふ化した群を主体に漁獲物を構成
- ・ 5月22日時点で、35mmモード群が漁獲の中心
- ・ 成長は0.7~0.9mm/日と例年並みか若干速めに推移

今漁期も発生時期が異なる5~6群が漁獲対象となっています(図)。前報で報告しました初漁期調査(5月5日)で主群とみなした4月上旬頃にふ化した群(図中の▲, ×)が、5月9日にはすでに適正サイズ(23mm以上)に達していました。これらに3月末頃にふ化した群(図中の■), および4月中旬頃にふ化した群(図中の◆)を加えた組成で、現在までの漁獲物が構成されています。成長量は、一日あたり0.7~0.9mmと例年並みか若干大きめであり、初漁期調査時点より、幾分、成長速度が増しているようです。このままの成長でいくと、主群(▲, ×)は5月末までに40mm前後あるいはそれ以上に達すると予想されます。続く◆, ○の豊度が高ければ、漁は6月に入ってからでも続く可能性もありますが、未だに主群の豊度には及ばない状況です。したがって、現状の判断としては、5月末頃が終漁時期の目安と考えられます。

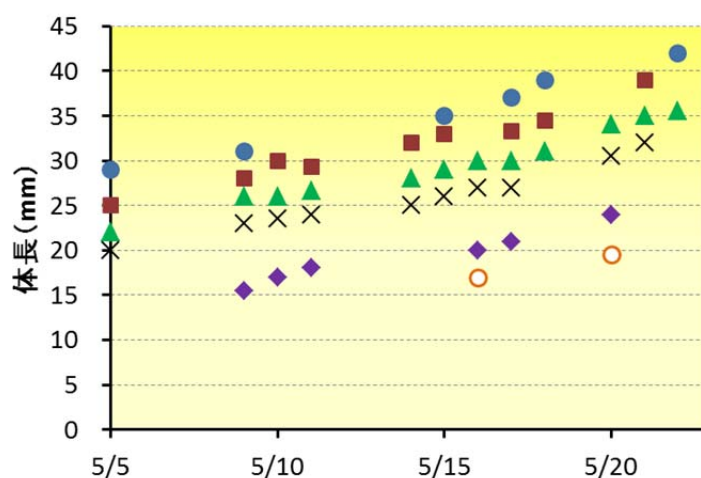


図 体長組成のモードの変化

お問い合わせ

中央水試資源管理部 : 0135-23-8707

後志南部水産指導所 : 0135-62-0087